

令和7年3月18日
内閣官房内閣サイバーセキュリティセンター

若手人材を対象とした国際的なサイバー競技会(ICC)を 2025年11月に国内開催します

内閣サイバーセキュリティセンター(NISC)は、若手人材向けの国際的なサイバー競技会である International Cybersecurity Challenge(以下「ICC」)を、民間のサイバーコミュニティからなる準備委員会との共催により、2025年11月に東京近郊で開催します。

ICC は、2022 年以來毎年開催されている国際サイバー競技会であり、アジア地域で開催されるのは今回が初となります(別紙)。

我が国において、サイバーセキュリティ人材の確保が課題となる中、有望な若手がサイバーセキュリティ分野を志していただける流れを促進すべく、大会期間中、CTF[※]やカンファレンス等を実施します。

開催日程、会場及びプログラム等の詳細につきましては、決定次第 NISC ホームページ (<https://www.nisc.go.jp/>)にて順次お知らせします。

※ CTF とは、Capture The Flag の略。サイバーセキュリティの専門知識や技術を駆使して暗号文や脆弱な Web アプリの中に隠された答え(Flag)を見つけ出すサイバー競技の総称であり、サイバー競技会そのものを CTF と称することもある。

【本報道発表に対する問い合わせ先】

内閣サイバーセキュリティセンター
人材政策班
電話:03-6205-4125

- ICCは、2022年から毎年開催されている地域対抗別の国際サイバー競技会であり、26歳以下の若手技術者の人材育成とコミュニティの構築に焦点を当てているのが特徴。
- 競技会の企画・運営は、欧州連合サイバーセキュリティ機関 (ENISA) が立ち上げたICCプログラムの憲章及び規則に基づき、開催国において必要な体制を構築するものとされている。
- 2025年大会は11月に東京近郊で開催予定。

開催実績

2022年6月 ENISAが主催

第1回 ギリシア・アテネ

7チーム参加：アフリカ、アジア（日本含む）、カナダ、ヨーロッパ、ラテンアメリカ、オセアニア、アメリカ合衆国
順位：1位 ヨーロッパ；2位 アジア；3位 アメリカ

2023年8月 CISAによる支援

第2回 アメリカ・サンディエゴ

7チーム参加：同上
順位：1位 ヨーロッパ；2位 オセアニア；3位 アジア

2024年10月

第3回 チリ・サンティアゴ

2025年11月 (予定)

第4回 日本・東京近郊

イベントの基本的な流れ

ICCのメインは競技会であり、カンファレンス及び展示会の実施はオプション

日程・プログラム (案)

1 日目	AM 会場設営/参加者受付
	PM 環境確認 (リハーサル) / 審判員等打合せ
2 日目	AM 競技/カンファレンス等
	PM 競技/カンファレンス等
3 日目	AM 競技/カンファレンス等
	PM 振り返り/表彰式・レセプション